

## 応用生物学科

## インターンシップ2

|      |          |     |    |          |   |    |                  |     |    |    |   |
|------|----------|-----|----|----------|---|----|------------------|-----|----|----|---|
| 対象   | 2年次      | 開講期 | 通年 | 区分       | 選 | 種別 | 実習               | 時間数 | 30 | 単位 | 1 |
| 担当教員 | 実習先企業担当者 |     |    | 実務<br>経験 | 有 | 職種 | (職種は実習先企業担当者による) |     |    |    |   |

## 授業概要

様々な場面で必要とされるプレゼンテーション能力を磨き、伝えたい内容を正確に相手に伝える方法を理解することを目的する。1年次初めより各実習で求められるレポートや、インターンシップ、さらには他学科や学外の企業などとも連携して行うプロジェクト活動などで必要とされる表現能力を磨く。

## 到達目標

①専門学校で学んだ知識や実験技術が、企業や大学の研究室などでどのように利用されているかを体験し、今後の学内での勉強や卒業後において何が必要であるかを考えることができるようになる。②安全や環境に対する意識を高め、バイオ技術者としてのモラルや責任感、チームワークを支えるコミュニケーション能力、挨拶、マナーの重要性を認識できるようになる。③実習内容および実習先企業での社会的経験を報告書とする。

## 授業方法

①学内での事前実習、②学外インターンシップ先での実習、③学内での事後実習（まとめ）の3部構成となっており、全時間の出席が義務となる。学外での実習体験を通じて、会社組織の一員としてのコミュニケーション能力、マナーや個人の責任感を修得させ、バイオ技術者としての倫理観の重要性を認識できるように構成されている。また、回数や時間数に関しては30時間を1単位として受け入れ企業との話し合いにより決定する。

## 成績評価方法

実習先担当者による評価、提出された実習報告書などの内容を総合的に評価する。

## 履修上の注意

参加には学科長および専任教員の面談が必要となる。勉学意識に問題がある場合などは受講許可されないので承知しておくこと。学外で実施するので、インターンシップ先の指揮・命令者の指示に必ず従うこと。参加前にインターンシップ保険に加入のこと（学生係にて各自申し込む）。授業時数の4分の3以上出席しない者は評価を受けられない。

## 教科書教材

インターンシップ受け入れ先企業にて準備

| 回数  | 授業計画                                    |
|-----|---|
| 第1回 | 事前学習①（インターンシップに参加する意味を理解する）             |
| 第2回 | 事前学習②（実習企業について調べ、業務内容を理解する）             |
| 第3回 | 受け入れ先企業にて実習（企業でのインターンシップを通じて、働くことを理解する） |

## インターンシップ2

|     |   |
|-----|---|
| 第4回 | 受け入れ先企業にて実習（企業でのインターンシップを通じて、働くことを理解する） |
| 第5回 | 受け入れ先企業にて実習（企業でのインターンシップを通じて、働くことを理解する） |
| 第6回 | 受け入れ先企業にて実習（企業でのインターンシップを通じて、働くことを理解する） |
| 第7回 | 受け入れ先企業にて実習（企業でのインターンシップを通じて、働くことを理解する） |
| 第8回 | 事後学習（報告書の作成と実習報告）                       |